



1 たまり場とき草

水戸市

サロン開設年月日	平成20年9月1日
開催日及び開催頻度	月1回
開催拠点	水戸市 山本ケイさんの一室を借用
代表者氏名	大内 由美
代表者電話番号	☎ 029-244-0459
1回の参加人数	平均15人
1回の運営スタッフ数	平均 3人
参加費	1人1回100円, 弁当代として500円

年間予算額及び主な財源

年間予算額	60,000円
(内訳)自主財源	60,000円



サロンのテーマ・目的

「住み慣れた地域で、みんなの助けを借りて、誇り高く生きるために」を合言葉にした、ご近所における助け合いの、システムづくりをめざしています。

活動の概要

- 食生活，健康と医療，福祉と介護，社会生活など各分野の情報交換や学習会，さらにはミニライブなど文化活動も展開しています。

身近な人材や施設など地域の社会資源の活用

- いばらきコープ，茨城保健生活協同組合，翠清福祉会，茨城県社会福祉協議会などへ講師を依頼したり，さらにはミュージシャン等の協力なども得ながら活動を進めています。

サロンの特徴

- 居住している家屋の一室を借り，ご近所の方々を中心に活動を展開しています。
 - 連絡方法は町内会の回覧板を活用しています。
- ※10月から水戸市内で他に「あじさいの家」「山百合の家」「御隠居庵」が活動を開始しています。



お食事会へどうぞ

日時 1月14日(木)
11時30分から

場所 サロンとき草
(山本けい様宅)

会費 500円+100円
(当日いただきます)

※今回から運営費を100円いただきます
ケアハウス水戸の宅配弁当をみんなでいただきます

新年の抱負を語りましょう!
終わったら、希望者はコープ水戸店に
お買い物にいきましょう!(送迎付き)

お申込み締め切り 1月11日(月)
お申し込み・お問合わせはいばらき保健福祉友の会
電話 029-251-2634



サロン実施にあたって苦労したこと

人集めに関して

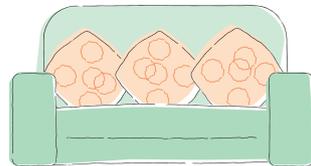
- ご近所の方々を中心にした、たまり場とすることで、新しい近所付き合いを再生するために、町内会の協力を得ながら、回覧版で開催をお知らせできるようにになりました。
- 駐車場については、参加者はご近所の方々なので、駐車場を利用する方はいません。駐車場の確保は、事務局や見学者等が利用するため、台数も少ないため、たまり場の参加者のお宅を貸してもらっています。

活動拠点に関して

- いばらき保健福祉友の会もサポートしながら展開しているため、友の会の機関紙にて、たまり場の募集を会員に向けて行っています。
- たまり場を借り受けるために、本人はもとより、離れて暮らす子供たちや親類の方々との合意を優先して協議を進めて来ました。
- 「たまり場契約書」を取り交わして、運営ルールなどを決めています。

財源に関して

- 参加者1回1人100円を「たまり場運営基金」として徴収し、積み立てる方式を導入して運営しています。
- 今後については、まちづくり助成金等の申請を検討しています。



委員からの一言コメント

一人暮らし高齢者の御自宅の一室を借用してのサロン。「とき草」という名称は、庭にいっぱい「とき草」が咲いており、そこから名付けた名前。山本さん宅の部屋の使用にあたっては、貸主と借り室使用者との間で契約を締結して、お互いが気持よくサロンに参加できるようにしているとのこと。参加者は高齢者、子育て中の親子、大学生、社会福祉協議会職員、近所の方々…。近所に住んでいながらあまり繋がりがなかった、いろいろな世代の方々新たに繋がり、輪が広がる…はんどちゃん運動がめざす「福祉コミュニティづくり」がここにありました。(事務局 中村英一)

サロン開催の効果

- 引きこもっていた方が、たまり場に参加してから、外出するのが楽しくなり、散歩するようになりました。
- 挨拶程度の付き合いが、立ち話しが出来るようになりました。
- 病院や買い物の送迎など、たまり場に参加しているご近所の方が、お手伝いしてくれるようになりました。
- 子供たちが、たまり場に参加しているご近所の方々と顔見知りになり、挨拶できるようになりました。
- 新しい安心が出来ました。

サロン開催の課題、今後のサロン活動への想い

- 住みなれた地域で生きていくためには、助け合える人の存在が欠かせず、また、日常的な交流の場も欠かせません。
- 場所（空き家・空き店舗）の確保については、行政の積極的な奮闘に期待したい。
- 民生委員のサポートを得て、一緒に助け合いのまちづくりを進めたい。

